

ナプコバリアーN

NAPKO BARRIER N

一般名称	エポキシ樹脂被覆材料			
適用規格	—			
系統	水中硬化形無溶剤エポキシ樹脂被覆材料(2液形)			
主な用途	【海洋鋼構造物用】	【電力・プラント用】	など	
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	○	×	×	×
				コンクリート
				○

特長

- 1) 水中で施工できる。(淡水での水中施工は不可)
- 2) 海洋構造物・棧橋・橋脚・ダム・水門などの半永久的な施工ができる。
- 3) 1回で3mm以上の厚付けができて、タレやワレがなく付着性が優れている。
- 4) 大きな凸凹(孔食跡など)や隙間へ充填できる。
- 5) 金網取付工法(特許No. 1348976号)に使用できる。

塗料性状	塗料密度(比重)	1.62
	溶剤密度(比重)	0.87
	加熱残分	99%

法令など	ベース	硬化剤
劇物表示 (品名・含有率)	—	—
労安法上の 表示有害物	—	フェノール

使用有機 溶剤種別	—	—
消防法による 危険物区分	非危険物	非危険物
硬化剤の成分 による区分	ポリアミドアミン	
ホルムアルデヒド 放散等級	—	

製品情報	ベース	硬化剤
荷姿	20kgセット 5kgセット	10kg(2.5kg×4) 2.5kg
混合比(重量比)	ベース:硬化剤=1:1	
主な色(色相)	グレー(N-8近似)	

※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。

素地調整

- 被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
- 水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
- 詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調合方法	ベースと硬化剤とを規定どおりの割合でよく混合したのち使用する。 混合方法は、専用攪拌機の使用が望ましい。
	熟成時間	不要
	使用シンナー	シンナーの使用は不可。 洗浄用シンナー:テクトEPシンナー
	希釈率(重量比)	—
	エアレススプレー	—
	塗装条件	—

ナプコバリアーN

NAPKO BARRIER N

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	
ウェットハンド法	5000	5100	10000
金網取付工法	5000	5100	13400

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	—	—	—	—	—	
	半硬化	24時間	24時間	6時間	2時間	2時間	
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	24時間	16時間	8時間	8時間	
	最長	7日	7日	7日	7日	7日	
可使時間		3時間	3時間	1時間	30分	20分	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5℃以下40℃以上、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: エスコ、エポマリンプライマー、SDジンク100、SDジンク500、アルテクトなど

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 上塗塗料

強溶剤: エポマリン、レタン中塗E、セラテクトU、F中塗など

弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	98.1	1.0

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 注意事項

- 1)被塗面の異物(研削材・ダスト・油脂汚れ・水分)や粉化物などは完全に除去してください。
- 2)塗装は温度5℃以上40℃以下、特に低温時の塗装には注意が必要です。
使用に関して詳細な資料がありますので当社にお問い合わせください。
- 3)高温で混合量が多くなると化学反応が促進され、可使時間が短くなります。夏場では混合量を10kg以下とし、
温度が30℃を越える場合は冷水で冷やしてください。
- 4)電気防食を併用する場合は、下塗塗料の種類に制約があります。
- 5)淡水での水中施工はできませんので、ご注意ください。
- 6)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
- 7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(製品安全データシート)を参照してください。